



を待っていた——
秋祭り



町の思い出の光景
いつもの祭りが帰ってきた

益城町みんなの秋祭りが11月4日、町総合運動公園で開催されました。

かつて「みんなの夏祭り」として町民に親しまれていた思い出の祭り。熊本地震の影響で長らく中止されていましたが、時期を秋に変更して、待望の復活を果たしました。

会場には、多数の出店やキッチンカーが立ち並び、中止期間の祭りを取り戻すかのように、約1万人の来場者で大にぎわい。町復興大使の小松野希海こまつののぞみさんが司会進行したステージイベントでは、広安西小・益城中・木山中吹奏楽部による息の合った演奏、益城太鼓保存会の演舞、ラムネ早飲み大会などが行われ、会場をさらに盛り上げます。

町の企業・団体や来場者が参加した総踊りでは、「益城育ち」、「益城小唄」の音楽に合わせ、みんなで櫓を囲んで久しぶりの踊りを楽しみました。

クライマックスは9年ぶりとなる花火。音楽とシンクロし、曲によって色や演出が変化する5千発の花火が打ち上げられ、秋の夜空を彩る音と光のショーに、会場は熱気と歓声に包まれました。